

Alma以外のメンバーの目録を、中央システムからネットワークゾーンが管理するブリッジ機関に統合する

Note

Alephブリッジ統合プロファイルは、特定のユースケースのための統合プロファイルです。このプロファイルは、Alma実装の一部として設定する必要があり、Ex Librisサポートの承認なしに設定することはできません。

AlmaネットワークにAlephセントラル目録を利用しているAlma外のメンバーがあり、ネットワークゾーンのインベントリをすべてのメンバーのものにしたいというユースケースのために、Alephブリッジ統合プロファイルは、Alma外メンバーの1月の新機能！物理的インベントリ（所蔵とアイテム）をAlmaネットワークゾーンのBridgeメンバーに統合するように設計されています。詳細については、[Alephブリッジ統合プロファイル](#)の設定を参照してください。

この実装は、Alephセントラル目録が、200、OWN、Z30などの専用フィールドで、書誌レコードに添付された目録情報を公開できることを前提としています。また、適切なブリッジメンバーに目録をインポートするために、各所蔵またはアイテムレコードに対して、メンバーを識別するADMコードが利用可能であることも前提としています。Alephのセントラル目録からのインベントリは、単一のFTPロケーションに公開され、そこからAlephブリッジ統合プロファイルがファイルをインポートして処理することができます。Almaは、各メンバーの既存のインベントリのみが毎回公開されることを想定しており、Almaブリッジ機関に以前存在していた1月の新機能！物理的インベントリをAlephブリッジから公開された物理的インベントリに完全に置き換えることに注意してください（電子インベントリはAlephではなくIZブリッジで直接作成される可能性があるため）。

Alephブリッジ統合プロファイルの設定

中央AlephシステムからAlma以外のメンバーの目録をブリッジ機関に統合するためには、Alephブリッジの統合プロファイルを、ネットワークゾーン内に作成する必要があります。この使用例では、ネットワークゾーンがプロセスを管理します。

ネットワークゾーン内Alephブリッジ統合プロファイルを設定するには：

1. 統合プロファイルリストページ（設定メニュー>一般>外部システム>統合プロファイル）で、統合プロファイルを追加を選択します。
2. 統合プロファイルのコードと名前を入力します。
3. 統合タイプドロップダウンリストからAlephブリッジ統合を選択します。
4. 次へを選択します。統合プロファイル設定の次のページが表示されます。
5. 以下の表を使用して詳細を確認し、統合プロファイルを完成させます。

Alephブリッジ統合プロファイル

フィールド	説明
	目録インポートの設定

フィールド	説明
アクティブ	アクティブなプロファイルとして使用する準備ができているとき、 アクティブ を選択します。
スケジュール	Aleph ブリッジ統合プロファイルの実行に適したスケジュールを選択します。このジョブを手動で実行することもできます。詳細については 実行 を参照してください。
FTP設定	Aleph セントラル目録から公開されたファイルの場所を識別するドロップダウンリストからFTP設定を選択します。
外部システムプレフィックス	Alma 以外のレコードの外部システムを識別するプレフィックスを入力します。 Alma の書誌レコードでは、このプレフィックスは Alma 以外のレコードとして区別するために 035 フィールドに格納されています。
Alephコードタイプ	<p>Alma機関コードをAlephサブ図書館コードにマップするか、またはAlephADMコードにマップするかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Alephサブ図書館コード - Alephサブ図書館コードを使用して Almaの機関コードにマップします。これはAlephの顧客によって使用され、「Aleph以外」のローカルアイテムが所蔵レコード（ADMではない）にあるため、ADM図書館ではなく所蔵図書館を含む公開ファイルになります。 注：サブ図書館が多数ある場合は、各サブ図書館を独自の行にマッピングする代わりに、Alephコードを示すときの機関の最初の文字のみを入力できます。たとえば、以下では、「D」で始まる各サブ図書館がAlma機関コード「WST」にマップされています。マッピングはベストマッチメソッドに基づいて行われます。つまり、正確なコードが指定されている場合、システムは最初に正確なコードを検索してマップし、次に他のすべての一致をマップします。  <ul style="list-style-type: none"> Aleph ADMコード - ADMコードを使用して Aleph図書館ADMコードを、AlmaネットワークゾーンのAlmaシャドウメンバー機関にマッピングします。この設定オプションは、それぞれ固有のADMコードを持っているが同じAlmaブリッジ機関にマッピングされている複数のAleph図書館がある場合に使用する必要があります。 <hr/> <p>Note</p> <p>このテーブルは、1つの外部システムメンバーコード（Aleph機関など）をAlmaブリッジ機関にマッピングするEx Librisによって設定されたネットワークゾーン設定マッピングテーブルを上書きします。</p> <hr/> <p>図書館のコードマッピングを入力するには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的のオプションを選択してから、AlephコードからAlma機関コードボタンへ選択します。 2. 開いたテーブルで、行の追加を選択します。 3. サブ図書館または図書館のADMコードとAlma機関コード（Ex Libris社によって機関用に設定）を入力し、行の追加を選択します。 4. 一意のコードを必要とする図書館ごとに上記の手順を繰り返します。

フィールド	説明																											
	<div data-bbox="337 275 836 401" data-label="Table"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Enabled</th> <th>ADM Code</th> <th>Alma Institution Code</th> <th>Updated By</th> <th>Last Updated</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>MN</td> <td>CC_inst</td> <td>ex_jmpl</td> <td>02/13/2018</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>LW</td> <td>CC_inst</td> <td>ex_jmpl</td> <td>02/13/2018</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>GD</td> <td>CC_inst</td> <td>ex_jmpl</td> <td>02/13/2018</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="297 415 857 443">5. カスタマイズを選択して、マッピングを保存します。</p>	Enabled	ADM Code	Alma Institution Code	Updated By	Last Updated		1	<input type="checkbox"/>	MN	CC_inst	ex_jmpl	02/13/2018	...	2	<input type="checkbox"/>	LW	CC_inst	ex_jmpl	02/13/2018	...	3	<input type="checkbox"/>	GD	CC_inst	ex_jmpl	02/13/2018	...
Enabled	ADM Code	Alma Institution Code	Updated By	Last Updated																								
1	<input type="checkbox"/>	MN	CC_inst	ex_jmpl	02/13/2018	...																						
2	<input type="checkbox"/>	LW	CC_inst	ex_jmpl	02/13/2018	...																						
3	<input type="checkbox"/>	GD	CC_inst	ex_jmpl	02/13/2018	...																						
実行	Alephブリッジ統合プロフィールを設定して保存した後、このプロフィールに戻ると、実行を使用して統合プロセスを手動で実行できます。																											
所蔵のマッピング																												
所蔵フィールドのマッピング	<p data-bbox="282 674 1463 701">所蔵フィールドのマッピングはFTPファイル（複数可）ソースから、Almaターゲットへの所蔵マッピングを作成します。</p> <p data-bbox="282 730 1154 758">表示されたマッピングテーブルページで、行を追加を選択し、以下の情報を入力します。</p> <ul data-bbox="297 787 1500 1087" style="list-style-type: none"> 。 ソースタグ 。 ソースサブフィールド 。 1番目と2番目のインジケータのソース設定（コンマで区切る） 空白のままにするインジケータには、ハッシュタグ（#）を使用します。 。 ターゲットタグ 。 ターゲットサブフィールド 。 1番目と2番目のインジケータのターゲット設定（コンマで区切る）空白のままにするインジケータには、ハッシュタグ（#）を使用します。 <p data-bbox="282 1117 1224 1144">行を追加を選択し、マッピングする必要がある各タグに対し、行を追加の手順を繰り返します。</p> <p data-bbox="282 1173 802 1201">行の追加が完了したら、カスタマイズを選択します。</p>																											
アイテムマッピング																												
	<p data-bbox="282 1346 1500 1436">Almaのアイテムは固定フォームで作成されるため、アイテムマッピングセクションのパラメータはAlmaの冊子アイテムエディタのパラメータに直接対応しています。その結果、指定する必要があるのは、次の各パラメータのソースサブフィールド（Alephセントラル目録ファイルから）のみです：</p> <ul data-bbox="297 1465 654 1915" style="list-style-type: none"> 。 資料タイプサブフィールド 。 アイテムIDサブフィールド 。 図書館サブフィールド 。 ロケーションサブフィールド 。 バーコード サブフィールド 。 アイテムポリシーサブフィールド 。 アイテム請求番号サブフィールド 。 目録番号サブフィールド 。 在庫日サブフィールド 。 説明サブフィールド 。 所蔵IDサブフィールド 																											

フィールド	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 機関コード アイテム日付サブフィールド (Almaの修正日に保存)
デフォルト (資料タイプ)	受領したアイテムに資料タイプが指定されていない状況で、デフォルトとして特定したい資料タイプを指定します。
資料タイプマッピング	資料タイプマッピングを選択し、FTPファイルにあるAleph資料タイプラベルを入力します。レコードがAlmaに保存されると、対応するAlma資料タイプIDとともに保存されます。このマッピングテーブルで特定された1つのAlma資料タイプのFTPファイルで発生する可能性のある3つの異なる資料タイプを入力するために、3つのAleph資料タイプ列が提供されます。

6. 保存を選択します。

Alephブリッジ統合ジョブリポート

Alephブリッジ統合ジョブを実行すると、次の情報を含むリポートが作成されます：

- 機関名
- 処理済み所蔵/アイテム - インポートジョブによる処理済み所蔵/アイテムの数。
- 失敗した所蔵 - Almaへのインポートに失敗した所蔵の数。
- 失敗したアイテム - Almaへのインポートに失敗したアイテムの数。
- 失敗したレコード詳細 - 失敗した各所蔵レコードやアイテムレコードが、メンバーコードと記録IDによって識別されます。失敗したレコードごとにエラーメッセージが表示されます。必要に応じて、このイベント情報をExcelファイルにエクスポートできます。

このリポートを表示するには：

- 作業の監視ページを開き (管理 > 作業の監視)、履歴タブを選択します。
- Alephブリッジ統合リポートの行アクションリストからリポートを選択します。
- リポートの結果を拡張してAlmaの各ブリッジ機関 (メンバー) の結果を表示するには、メンバーバーを選択します。

Job Report

Aleph Bridge Integration

Completed Successfully

Process ID: 21042712040002201
 Finished on: 16/10/2017 15:02:32 CEST
 Status: Completed Successfully
 Records processed: 4

Started on: 16/10/2017 15:02:18 CEST
 Total run time: 14 Seconds
 Status date: 16/10/2017 15:02:32 CEST
 Records with exceptions: 0

Member

	Institution Name	Processed holdings/items	Failed holdings	Failed items	
1	Alma member #1	7	0	7	...
2	Alma member #2	1	0	1	...
3	Alma member #3	7	0	6	...

Aleph Bridge 統合レポートの結果

- 失敗したレコード行アクションを選択します。ジョブイベントセクションが表示され、失敗した所蔵レコードとアイテムレコードの詳細へのリンク、およびジョブイベントを Excel ファイルにエクスポートするオプションが表示されます。

Job Report

Job Events

Export To Excel

Failed to create Holding(0)

Failed to create Item(6)

ジョブイベント

- リンクを選択して、レコード失敗の詳細を表示したり、イベント情報を Excel ファイルにエクスポートしたりします。

。